屋内線化

Indoor Green Promotion Council

屋内緑化レポート

2017/May - **4**

IGPO

屋内緑化推進協議会

〒143-0001東京都大田区東海2-2-1 Tel.(03)3799-5435 Fax.(03)3799-5448 ホームページ http://www.okunairyokka.jp/



屋内緑化推進協議会会 長 前田 悟

当協議会も設立3年を経過し本年6月に は4年目を迎えます。

当協議会は設立当初から、緑の効用を国民の皆さんに知って頂き2020年東京オリンピックまでにオフィス、商業施設、個人事業所、公共施設、家庭等の屋内(室内、軒下)における緑化率100%を、目標に「各部屋1鉢以上ある状態」を異分野多業種の皆さんと一緒になって幅広い運動を展開しております。当協議会が提唱する緑の効用は、NASA・大学等で研究発表され、心の病、生産性向上、住居環境改善、目の疲れを癒しストレスの解消に繋がるなど様々な面で健康及び精神に良いことが証明されています。

昨年より労働安全衛生法違反で大手企業がブラック企業として大きく報道されており、政府においては健全で働きやすい職場

環境づくりと心の健康等に関する施策を講 じています。厚労省は一昨年の6月に安全 衛生優良企業公表制度により安全・健康で 働きやすい職場を増やすために認定企業名 を公表しています。また、経産省は、昨年7月 に健康経営優良法人認定制度(ホワイト 500)をスタートさせ、2020年までに500社 を認定する予定です。更に、うつ病対策とし て昨年12月には労働安全衛生法で従業員 のメンタルヘルス不調の早期発見のため、ス トレスチェックが義務付けられました。これら3 つの制度は、職場に緑を増やす起死回生の 切り札になりえます。数年前のリーマンショッ クにより、企業は経費削減を強いられ緑が激 減しました。オフィス等から緑が真っ先に消 え、殺風景になったままになっていますが、こ れから職場環境を改善し、認定制度の取得 を目指す企業にとってはも屋内への緑の導 入は、目に見える形で結果を上げられるもの であり我々にとっても絶好のビジネスチャンス です。

昨年は、3月に岐阜県主催の国際花きシンポジウム(アジアサミットが)開催されました。その前日に、当協議会主催の植物の効用に関するセミナー「植物の効用シンポジウム」と前夜祭を開催し、これを皮切りに関西、中京、関東での勉強会及び交流会、農水省

の後援受けた屋内緑化コンクール)、並びに 海外研修と多くの活動を会員の皆様のご協 力により着実に成果をあげております。

新たな屋内緑化分野へのビジネス展開と しては、会員企業のご努力もあり、全国各地 の様々な公共施設、病院、商業施設、オフィ スビル、マンション等パブリックスペースを中 心に観葉植物を使用した室内壁面緑化が 急成長を遂げております。更に、東京オリン ピックに向けた新たなトレンドとして、屋内の 空間装飾は特需の兆しが感じられます。また 一方、一般家庭における、いわゆる「ホーム ユース | では、新たな潮流・ニーズとして管理 が容易な観葉植物、エアープランツ、多肉植 物、サボテンなどを雑貨等と組合せ、手軽に 組入れ、暮らしの中に自分なりの感覚で生活 空間をデザインし楽しみそれとに心のやすら ぎや癒しなどを求める人々が確実に増えてい ます。おしゃれなインテリアとしての観葉植物 をはじめとするスタイリッシュグリーンは、現代 風の斬新な感覚やデザインを取り入れ、緑 のある暮らしが益々多様化するでしょう。我々 の業界も様々な異分野多業種等と横断的 に幅広くコラボして、新たな文化として発展 する糸口になるよう努力していく必要があり ます。業界の枠を超えた仕組みづくり、新ビジ ネスを誕生させましょう。



「アジアサミットから甦る日本の園芸」

アジアにおける初の花きシンポジウムである国際花きシンポジウム(通称:アジアサミット)が2016年3月5日、岐阜県で開催され、国内外の園芸業界の代表者たちが集結した。このシンポジウムはアジア各国での花きの花きの歴史・文化や活用方法、花きの効

果・効用を学ぶことにより、家庭やオフィス、まちづくりなどにおける花きの幅広い活用の促進を図るとともに、アジアへの花きの輸出に向けた商品を考えることを目的に開催された。当日は約500人以上が参加し、植物が人にとってかけがえのないものであることを

認識するとともに、海外への展望を含め日本の花き産業はこれから発展する大きな転換点にあることを認識した。また、前日の前夜祭には日本の園芸業界を築いてきたそうそうたる顔ぶれが一同に会し、ここから始まる園芸の未来に向けて大きな一歩を踏み出した。



名称:国際花きシンポジウム(通称:アジアサミット) 日時:平成28年3月5日 16:30~19:00 場所:岐阜グランドホテル ロイヤルシアター 主催:岐阜県

調講演

演題「植物の効果・効用について」 講師 カマール メトル氏

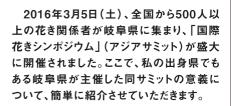
パネルディスカッション

テーマ 「アジアの花きの活用と 輸出入について |

アジアサミット 開催の意義

元 農林水産省花き産業振興室長 **佐分利 応貴**

(現総務省行政評価局評価監視官)



岐阜から始まる「花き新時代」

平成26年、日本の花き業界は大きな節目を迎えました。「花きの振興に関する法律」(花き振興法:平成26年法律第102号)の成立です。同法は6月5日に衆議院で、6月20日に参議院で、いずれも全会一致で可決され、6月27日に公布、12月1日に施行されました。

花き振興法は、その第1条で「花きに関す る伝統と文化が国民の生活に深く浸透し、 国民の心豊かな生活の実現に重要な役割 を担っていることに鑑み、花き産業及び花き の文化の振興を図る」とされているとおり、国 が花きの重要性を認め、花き産業と花き文 化を振興していくことを定めた法律です。花 きは、畜産(33%)、野菜(26%)、米(21 %)、果実(9%)に次ぐ農業産出額(4%:平 成25年)を占めているにも関わらず、関税に も守られず花き関連予算は農林水産省予 算(2~3兆円)の0.005%以下(1億円未 満)という状況でしたが、この法律により、花 きはようやく日本の農業政策の中で確固たる 地位を占めることができるようになりました。ま さに「花の細道」が「花の国道」になった(岐 阜花き流通センター農業協同組合:加藤孝 義理事長)といえるでしょう。

花き振興法は、その成立に際し、3つの附帯決議(国会から政府への要請)がなされています。具体的には、「花き産業及び花きの文化の振興に向けた取組については、国、地方公共団体、関係者等が緊密に連携し、一体となって進めることができるよう、法第四条に基づく振興計画が全ての都道府県において定められるよう促すとともに、市町村においても、法の趣旨を踏まえ、都道府県の振興計画に即して花き振興に積極的に取り組むことができるよう、必要な措置を講ずること。」です(残りは、切り花、球根、花木類、盆

栽等の鉢物、芝類、地被植物類それぞれの特性に応じたきめ細かい振興策を講ずること、花きの輸出促進では、科学的根拠に基づき諸外国との検疫協議が進められるよう必要な措置を講ずること、の2点です)。

法律の施行に際しては、この附帯決議により、国は地方公共団体の取組(振興計画の策定)を促すこととされていますが、実は、この法律が施行される前に、花き振興のための条例を自ら制定・施行する地方公共団体が現れた。

岐阜県です。

岐阜県は、ミニバラやカランコエ、フランネルフラワー、オステオスペルマムなど多くの生産額日本一の花をもち、平成7年に花の博覧会「花フェスタ'95」を可児市(現花フェスタ記念公園)で開催し、その後10年ごとに「花フェスタ2005ぎふ」、「花フェスタ2015ぎふ」を、またGIFUフラワーショー(平成9~17年)なども開催してきました。平成24年の「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」では、競技会場をはじめ沿道など様々な場所を花きで飾って県内外の来訪者をおもてなしするなど、岐阜県は日本有数の「花や緑を愛する県」だったのです。

そうしたなか、岐阜県の花き関係者が、インドのカマル・メトル氏の講演ビデオ「おいしい空気の作り方」を見て衝撃を受けます。花きがあると人のストレスが減る、生産性も上がる ー 花きは贅沢品ではない。私たちの生活になくてはならないものなのだ ー 平成26年1月、2月に花き業界関係者からの花き振興条例制定の陳情を受け、岐阜県議会と岐阜県庁は直ちに動き始めます。9月18日には県議会議員から条例案が発案され、翌10月9日に「岐阜県花きの振興に関する条例」(花き振興条例)が成立したのです(10月15日公布・施行)。国の花き振興法の施行に先立つこと1ヶ月半、まさに日本の花きの新時代は、岐阜県から始まったのです。

全ての県民の参加と協働

こうして作られた花き振興条例は、その前 文で「花きには、その色や香り、園芸等の作 業を通じた自然とのふれあいにより、人に潤 いと安らぎを与える効用がある。」と花きの効 用を高らかに宣言しています。 そして、「家 庭、学校、地域等県民の生活のあらゆる面 において花きが活用され、県民一人一人に 県外からの来訪者を花きでおもてなしする心 が育まれることが必要である。| 「全ての県民 の参加と協働により、花きの振興に関する 施策を総合的かつ計画的に推進するため、 この条例を制定する。」と、まさに全県をあ げ、住民参加による花き振興に取り組むこと とされています。具体的な措置としても、花き 振興法にある「振興計画の策定」「花き文 化の振興」などに加え、「花の日」(8月7日) の制定や、「園芸福祉」「花育」「花きの安定 供給」などの多くの取組を県が「講ずるもの とする」(措置義務)とされているなど、国の花 き振興法の「努めるものとする」(努力義務) からさらに踏み込んだ内容となっています。

今回のアジアサミットは、平成28年度から始まる花き振興5カ年計画(清流の国ぎふ花き振興計画:~平成32年度)のスタートにあたり、市民向けのイベントである「ぎふフラワーフェスティバル」と並行して開催されました。こうした岐阜県の取組は、国会や政府の動きを踏まえた先駆的なものであり、他の地方公共団体の模範となるものだと言えるでしょう。

花きの効用 贅沢品から生活必需品へ

岐阜県花き振興条例は、前文で花きの効 用について述べていますが、いま花やみどり の効用が次々と明らかにされてきています。 今回のアジアサミットのパネリストであるカマ ル・メトル氏の研究では、オフィスに植物を置 くことで血液中の酸素濃度が上昇し、労働 生産性が最大20%上がることが報告されて おり、オーストラリアのシドニー工科大学の研 究では職場に緑があると社員のストレスが 30%~60%減り、生産性や他者への思い やりも高まることが報告されています。日本で も、千葉大学の研究で同様のストレス軽減 効果が確認されています。 報23年にNature に掲載されたドイツの研究では、都会に住む 人の脳は、田舎に住む人に比べて、ストレス、 中でも社会的ストレスの影響を受けやすい 傾向にある(統合失調症等を発症しやすい) ことが示されています。こうした都会のストレ ス研究と植物によるストレス緩和の研究(環 境を豊かにする=環境エンリッチメントといい ます)はさらに広がりを見せており、植物の効 用について今後一層明らかにされていくでし ょう。花きが「贅沢品」から私たちの暮らしに なくてはならないもの=「生活必需品」となる のも、時間の問題だと思われます。

アジアサミット世界から学ぶ

4日の前夜祭に続き、5日に岐阜グランドホテルで開催されたアジアサミットでは、韓国、中国、シンガポール、インドから花き関係のキーパーソンが集まりました。

世界的なプレゼンテーション・イベントTED (TechnologyEntertainment Design)の「自分でできるおいしい空気の作り方」講演(世界で250万人が視聴)で有名なインドのカマール・メトル氏からは、基調講演とパネルディスカッションで植物のある暮らしがいかに私たちや地球に優しいかが説明されました。

韓国花き輸出連合組織であり株式会社KーROSEのジョン・ファヨン代表理事からは、 我が国が見習うべき花き輸出の取組が述べられ、中国からは岐阜県と長く交流のある江西省花卉協会の姚技(よう・じ)会長より、中国輸出の受け皿になる協力が表明されました。シンガポール国立公園庁イベント展示部のデニス・リム副長からは、シンガポールが1965年 ニス・リム副長からは、シンガポールが1965年の建国以来ずっと国土の緑化を進めており、国家目標もgarden city(庭のある都市)から city in the garden(庭の中にある都市)へと更に進化していることが示されました。日本の松波健四郎日本体育大学理事長からは、アフガニスタンで教師を務められた御経験を踏まえた世界展開、特に中東への輸出の提案が、日本を代表する若手盆栽家の山田香織さんからは、ジョウロなどの一つ一つの道具にも日本の心が生かされていることや若手への啓発の重要性が指摘されました。岐阜は、織田信長公が古代中国の周王朝が始まった「岐山」(きざん)と孔子の生まれた曲阜(きょくふ)にちなんで名付けた「天下を見渡す丘」という意味

を持つ土地ですが、まさに岐阜から、今後の花 き業界の世界への展開のビジョンを見たとい う想いです。

社会を変えるための横展開を!

岐阜県は、平成26年3月に県内花き関係15団体が結集した「戦略会議」を設置し、商品企画コンテスト(花-1グランプリ)の実施、「花のある暮らし展示会」の開催、66校での花育実施など、次々と矢(具体的なアクション)を放ってきました。そして、平成27年11月には「ikenobo花の甲子園」で岐阜県立大垣東高校華道部が最優秀賞に選ばれ、12月には農業と地域の活性化を目指す「全国高校生

みんなDE笑顔プロジェクト」全国大会で、岐阜県立大垣養老高等学校がひょうたんを活用したプロジェクトで優勝するなど、若手も元気に活躍しています。

•

社会を変えるには、トップランナーだけでなく、後に続く第2、第3の成功事例が必要です。2013年1月に京都で制定された「日本酒乾杯条例」は、すでに全国で100以上の日本酒乾杯条例、焼酎乾杯条例(都城市)、牛乳乾杯条例(那須塩原市)などさまざまな乾杯条例となって広がりを見せています。岐阜県の先進的な取組に倣い、日本の各地で同様の「花き振興条例」制定の取組が広がることを期待しています。

第一部

基調講演

「植物の効果・ 一効用について」



講 師 カマール メトル氏

基調講演では、インドの環境研究者のカマールメトル氏が「植物の効果・効用について」と題し、植物を室内に置くことによる心身への好影響やエネルギーコストの軽減について、科学的な実証とともに紹介した。

約21年前、インドのニューデリーに住んでいたカマール・メトル氏は、デリーの汚染され

た空気により、胸部うっ血を引き起こすまで の呼吸疾患に苦しんでいた。カマール氏の 肺活量は低下し、医者にはデリーを離れるよ うに言われた。

カマール氏は、インド科学技術研究所やNASAなどの植物実験をもとに研究を重ね、空気を浄化する3つの植物(奇跡を起こす植物=ポトス、アレカヤシ、サンスベリア)を発見した。彼はこれらの植物による空気浄化法を築20年以上のビル「パハルプール・ビジネス・センター」で検証し、その結果このビルは、アマリカグリーンビルディング協会の環境評価システムで最高評価を得たインドで最初のビルとなり、また、オーストラリア国外初のNABERS(オーストラリア建築環境格付け制度)に認可を受けるに至った。

講演では、ポトス、アレカヤシ、サンスベリアを室内に置くことによるメリットを科学的に紹介。かびや細菌を含んだビル内でも室内汚染物質の数値を減少させ、そこで1日8~

10時間過ごす人の血中酸素レベルが高い確率で1%上昇し、労働生産性を20%上げることができる。また植物による空気浄化により空調システムのエネルギーコストを15%下げる効果があるとした。



こうした科学的な裏付けを重ねることで、植物を「ぜいたく品」から「必需品」へとシフトさせることができ、屋内空間における植物の価値を高めていくことができそうだ。



「植物の効用研究の 過去、現在、今後」



講演会

愛媛大学農学部教授 仁科 弘重

(理事・副学長・ 植物工場研究センター長)

目 的

植物の効用の研究報告と業界各分野の 需要開拓シンポジウム

日時: 平成28年3月4日 14:00~16:30 場所: 岐阜グランドホテル ホール

主催:屋内緑化推進協議会

の効用の研究と成果に関してご講話を頂き、また植物の効用の普及啓発活動と需要拡大をどう行ってゆくか、業界関係者でシン

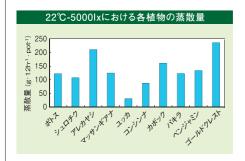
長年植物の効用の研究を行っている愛

媛大学の仁科弘重教授をお招きして植物

ポジウムを行いました。

植物の効用シンポジウム 植物の効用研究の過去、現在、今後

- ●温熱環境調節・快適性向上効果 植物の蒸散によって室内の湿度が上昇し、 温熱快適性が向上する効果
- ●空気浄化効果 植物が室内の有害ガスを吸収・吸着し、 有害ガスの濃度を低下させる効果
- ●心理・生理的効果 植物(花、香りも含む)の存在によって 人間の心理・生理が変化する効果
- ・視覚疲労緩和・回復効果 植物を見ることによって、 視覚疲労が緩和、回復する効果





相対湿度が20%以上上昇する(12月) 70 カポックを配置 相対湿度(%) 60 50 20%以上 何も無し 40 30 20 12 16 · 刻 0 8

配置する観葉植物の種類が異なると 室内の湿度上昇も異なる(12月)





植物がある部屋とない部屋の相対湿度



脳波による心理状態の解析

[解析方法]

▶α波(8~13Hz)

心身ともに落ち着いているときに現れる

▶ ß 波 (13~30Hz) 緊張・興奮しているときに現れる 値が大きいほど

ある被験者のある処理区の ▶ a / ß 値 =

その被験者のその処理区の 「α波の平均パワー/β波の平均パワー|

その被験者の全処理区の 「α波の平均パワー/β波の平均パワー」の平均

SD法による心理評定

- ▶形容詞対ごとは -3~+3の7段階で評価
- ▶ 各対象ごとに得られた回答の 平均値を因子分析する
- ▶ 因子分析を行うことで、 ・タの中に潜在する 共涌因子を抽出する

実際に使用したアンケート用紙



イミテーションプランツ



シュロチク コンシンナ アレカヤシ パキラ マッサンギアナ ベンジャミン カボック(斑入り) ゴールドクレスト イミテーションプランツ(告知前) イミテーションプランツ(告知後)

社会人(45歳以下)・男性・夏期のデータベース -0.250 0.917 1.500 1.338 0.088 -1.667 0.750 1.167 -0.750 -0.833 0.667 -0.417 | 1.088 | 1.088 | 1.917 | -0.667 | -0.833 | 0.333 | 1.167 | -0.750 | -0.750 | 0.417 -0.083 | 1.667 | 1.500 | 1.917 | 0.083 | -1.250 | 0.417 | 1.167 | -0.417 | -0.417 | 0.667 -0.750 0.917 1.838 1.088 -0.417 -1.750 -0.083 1.250 -0.667 -0.917 0.667 -0.917 0.500 1.167 1.833 -0.583 -0.917 0.333 0.417 -1.000 -1.167 0.417

56日目、ゴールドクレスト、通常状態に対する 各被験者のα/β値

品がある 品がない

被験者													
世話	実験者	1.46	1.06	1.25	0.95	0.97	1.19	1.13	0.96	1.02	0.87	1.10	0.98
した人	被験者	0.74	1.56	0.92	1.37	1.21	1.05	1.02	1.35	1.27	1.49	1.23	1.14

56日目、ゴールドクレスト、破壊状態に対する 各被験者のα/β値

被験者		Α	В	С	D	Е	F	G	Н	1	J	K	L
	実験者												
した人	被験者	0.64	0.42	0.86	0.42	0.72	0.79	0.68	0.40	0.77	0.77	0.67	0.64

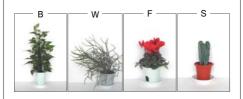
7、56日目、シクラメンの平均値プロフィール(通常状態)



植物を育てることが人間の心理に及ぼす影響

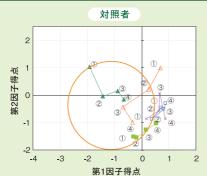
- 植物好きの人と植物に興味のない人で 異なるか?
- ② 育てる植物の種類によって違いがあるか?

被験者に育ててもらう植物4種類の一例

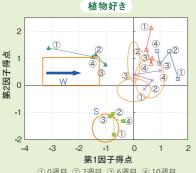


α/β 値の被験者の平均の変化 植物好き 1.3 1.2 В 1.1 W á 0.9 × s 0.8 0.7 週目 10 対照者 1.3 1.2 1.1 ▲ F 0.9 **C** 0.8 0.7 10

各植物の因子得点の変化



① 0週目 ② 2週目 ③ 6週目 ④ 10週目



① 0週目 ② 2週目 ③ 6週目 ④ 10週目

まとめ



植物好きの人は…

世話することによって、最初嫌いな植物にも 愛着を感じるようになる

植物に対する感性が豊かなため、それぞれの 植物に感じる愛着の差が大きい

植物にあまり興味のない人は…

世話することによって、植物に対して多少の **プ**愛着は感じるようになる

植物に対する興味がないため、それぞれの 植物に感じる愛着の差は小さい

両者で共通に言えることは、 形状の変化しない植物にたいしては、あまり 愛着を感じない



屋内緑化推進会議 第3回コンクール 受賞作品

屋内緑化100%の普及を目指す屋内緑化推進協議会(前田悟会長)では、3回目となる屋内緑化コンクール2016表彰式と高岡伸夫タカショー社長の記念講演を、10月12日、幕張メッセGARDEX会場内で開催した。

表彰式では、今回から農林水産省生産局局長賞が設けられ 10点が表彰された。生産局長賞には、「バスタ新宿屋内緑 化」(受賞者、国交省関東地方整備局東京国道事務所、フジ タ東京支店、日比谷アメニス、グリーバル)が表彰された。



主 催 屋内緑化推進協議会

協 賛 一般社団法人日本インドア・グリーン協会 公益社団法人日本家庭園芸普及協会 一般財団法人日本花普及センター 日本ハンギングバスケット協会

審 查 員 近藤 三雄 東京農業大学名誉教授 (審査委員長) 安藤 敏夫 千葉大学名誉教授

> 飯島健太郎(桐蔭横浜大学・医用工学部准教授) 町田ひろ子(町田ひろ子アカデミー代表取締役社長) 槇島みどり(東京農大客員教授、景観デザイナー) 前田 悟(屋内緑化推進協議会会長)

受賞結果 詳細は下記 URL をご覧ください。 http://www.okunairyokka.jp/ 屋内緑化推進協議会 事務局 田中義一

問合せ先 03-3799-5435 ytanaka@faj.co.jp

作品部門

農林水産省 生産局 局長賞

■作品名称

「バスタ新宿 屋内緑化 |

■応募者: 国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 株式会社 フジタ 東京支店 株式会社 日比谷アメニス 株式会社 グリーバル



(一社)日本インドア・グリーン協会理事長賞

■作品名称

植物工場レストラン 「野菜ディスプレイ」

■応募者:株式会社 ジェイシーシー 株式会社 グリーンウインド



(公社)日本家庭園芸普及協会会長賞

■作品名称

「あたらしい植物の居場所」

■応募者:大和リース株式会社東京本店



(一財)日本花普及センター会長賞

■作品名称

Green Pillar

■応募者: 株式会社 大 川 有限会社 プラネットファーム



(一社)日本ハンギングバスケット協会理事長賞

■作品名称

「上質のリビングルーム」

■応募者:株式会社アルフレックスジャパン名古屋 株式会社フタムラグリーンサービス



屋内緑化推進協議会会長賞

■作品名称

「森の書店 |

■応募者:株式会社 明文堂プランナー 株式会社 パーク・コーポレーション



緑の取り組み部門

審査委員特別賞

■作品名称

「自然とともにある暮らし」

■応募者:株式会社 コスモスイニシア 株式会社 パーク・コーポレーション



審査委員特別賞

■作品名称

「がんばれステップガーデン」

■応募者:大和リース株式会社大阪本店



屋内緑化推進協議会奨励賞

■作品名称

電車内緑化

「リニモグリーン車」

■応募者:ひらひら日本実行委員会 ひらひらリニモ参加者一同



農林水産省 生産局 局長賞

「バスタ新宿 屋内緑化 |

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 株式会社 フジタ 東京支店 株式会社 日比谷アメニス 株式会社 グリーバル

■受賞理由

利用者に対する「おもてなし」「やすらぎ空間」を求め、ターミナル施設に緑化空間をつくり、滞在を快適に過ごせる空間として整備している。植栽とベンチの組み合わせや、座れる人工芝ベンチ等利用者に楽しむ時間を提供している。公共空間である交通施設のあたらしいあり方として、画期的な取り組みであり高く評価でき、今後の普及を期待して選ばれました。

■作品の概要

バスタ新宿は、新宿駅南口地区に高速バスターミナル、タクシー乗降場などを集約した総合的な交通ターミナルとして開設されました。本ターミナルは、立体道路制度を利用した建物の中に国道20号が入り、国土交通省が管理しています。

当初、ターミナル機能を重視した計画では、車道と歩行者通路が整備された空間でしたが、利用者に対する「おもてなし」「やすらぎ空間」を求めて、ターミナル施設に緑化空間をつくり、滞在を快適に過ごせる空間として整備されました。

植栽は、高木植栽、プランター緑化、壁面緑化を各所に配置し、空間のボリュームに負けない緑量を確保しています。また植栽は、利用者が滞在するベンチや通路、滞留空間に配置し、休息と緑化を合わせたデザインとし、ターミナル施設の景観や機能に配慮しています。

多くの利用者に対して緑化が施された施設空間は、国土交通省が管理する道路施設としては数少ない事例で「バスタ新宿」の事例が今後、新たな交通空間への緑化に寄与すると思われます。

作品のアピール点

「バスタ新宿」は、国内外を問わず多くの利用者が訪れる交通ターミナル施設となります。施設の利用者にとって、その場所で過ごす時間が快適に過ごせるように、緑化の機能やデザイン、配置を考えたゾーニングを行いました。そして、利用する交通機関の発車を待つ時間や待ち合わせの場所として利用できる機能を、植栽に取り込みデザインを行いました。

3Fでは植栽とベンチを組み合わせて配置することでレストスペースを設け、植物に囲まれた空間で時間を過ごせる場としました。また、施設空間でのストレスを軽減するために、高木を配置して、街路樹の景観を施設内に取り込みました。壁面緑化を配置した空間では、人工芝に腰を下ろして休息するベンチを配置するなど、利用者に楽しむ時間を提供しています。

このように利用者の利用シーンを考慮したデザインをすることで、多くの緑化アイテムを配置しています。緑化の利用方法や機能・デザインを一つの施設に集約した事例は、今後の屋内緑化の好事例となり、普及の一役を担う事例と思います。



緑化システム

現場は外気が入ってくる環境であるため、耐寒性と耐陰性のある植物を選択して、植物の植替えを最小限に抑えられるようにしました。レストスペースの生木は、プランターへ直接客土を敷き込み、植物を植え付けることで、植物の水持ちを良くし、メンテナンスの作業頻度を抑えることができました。

レストスペース周りの植栽は、数種類のサイズのプランターを組み合わせて緑地帯を作りました。将来的にレイアウトを変更する際にも、プランターを

移動することで簡単に緑地帯の形を変 えられるようにしています。

プランター置きの植栽では、アーティフィシャル(高木)と生木(下草)を組み合わせました。人の目線に近い下草は生木を使用することでリアル感を追求しています。





--般社団法人

日本インドア・グリーン協会理事長賞

植物工場レストラン 「野菜ディスプレイ |

株式会社 ジェイシーシー 株式会社 グリーンウインド

■受賞理由

店産店消を目指した植物工場レストランへの取組みとして、野菜栽培兼ディスプレイ用の什器を設置している。野菜は、農薬を使用しない安全野菜としてレストランの食材として使用されている。店舗内の二酸化炭素を栽培什器に取り入れ、植物により浄化された空気を店舗内に排出している。植物を使用した空気清浄、過湿等の環境改善はインテリアグリーンの新たな利用につながるため、選ばれました。

■作品の概要

店舗の増床、リニューアルに合わせ、 店産店消を目指した植物工場レストランへの取り組みとして野菜栽培用兼ディスプレイ用の什器を設置しました。 店内では653鉢の野菜苗を栽培でき、 大きくなった野菜は店舗のスタッフ収 穫のもと食材へと使用されています。 野菜苗は本社植物工場で栽培した幼苗を使用しており、農薬を使わない安心安全野菜として使用されています。 店内には野菜栽培什器の他にも、客席上部へミニトマト栽培ディスプレイ用の棚も設置し、店内での着果にも成功しています。

作品のアピール点

栽培はどちらも溶液循環の水耕栽培方式で溶液タンクはベンチシートの下へ収納しスペースを効率的に使用しています。照明は植物育成用の LED を使用。什器内には小型のファンを取付け、栽培什器内の通気性をよくすると同時に、店舗内の二酸化炭素を什器内へ取り入れ植物の光合成に使用させ、植物によって浄化された空気を店内へ排出している。什器内の湿気を外に出すことで店舗内を加湿するなど、この栽培什器は視覚的な楽しみ、栽培ができるほかに、空気清浄、加湿など店舗内の環境改善に対して複合的な役割を果たしています。

また、野菜苗の生産、入れ替え、収穫等全ての作業を、お施主様の自社スタッフで行われています。











公益社団法人

日本家庭園芸普及協会会長賞

「あたらしい 植物の居場所」

大和リース株式会社東京本店

■受賞理由

植物の居場所にオフィスのニーズをプラスし、付加価値ユニットの組み合わせることで、安心と五感に響く癒しの効果を演出した。植物を積み上げることで、同じ床面積で多くの緑を置くことが可能。自動灌水によりメンテナンスを軽減した。レイアウトフリーで色や形の組み合わせを自由にでき、パーテーションや書棚との兼用を可能としている。新しい提案として優れており選ばれました。

■作品の概要

弊社に来られるお客様に対し、おも てなしの心と空間を提供しています。 また少しでも癒されていただければと 思います。



作品のアピール点

■安心と五感に響く癒しの効果

植物の居場所にオフィスのニーズをプラスした付加価値ユニットの組み合わせ



- ① メンテナンスの手間いらず
- ② 付加価値ユニット 監視カメラ・ディスプレイ・スピーカー
- ③ 自動灌水

ことができる

タイマー制御で水やり不要 タンクへの水補充は必要 (月1~2回程度)

- 4 効率的な植物の配置 植物を積み上げることによって 同じ床面積でより多くのみどりが実 現フレキシブルに空間を緑化する
- (5) レイアウトフリー 色や形の組み合わせも自由自在 パーテーションや書棚兼用としても

■ 監視カメラ:安心

◆みどりの中に囲まれて威圧感を与えること なく設置可能

■ ディスプレイ:視

◆会社のインフォメーションやメッセージを縁 とともに伝えるアイテムとして活用

■ スピーカー: 聴

◆音楽によって空間を演出ヒーリング音楽 を流し、植物とともに癒しの空間を

■ 観葉植物:嗅・触・味

◆空調によって乾燥しがちなオフィス空間に 植物の持つ調湿効果と共に、ハーブ類を を植えることで香りを感じると共に成長を 楽しむことも







一般財団法人 **日本花普及センター会長賞**

「Green Pillar」

株式会社 大 川 有限会社 プラネットファーム

■受賞理由

集合商業スペースの半屋外コンコースを利用した緑化で、柱をみどりで覆っている。沖縄であるため、カラーリーフや花期の長い観葉植物を使用することで、華やかさを演出している。柱の緑化だけでなく高木等も配し、単調にならない工夫もされている。華のある柱の演出は花の普及に努める会の目的に合致しており、選ばれました。

■作品の概要

家具店【家具雑貨店、高級家具店、アウトレット家具店】の集合商業スペースのコンコースを利用した壁面緑化。壁面緑化資材【スマートパネル】を232枚使用し、ポット数は1,160ポット。テントの無機質なパイプをスマートパネルで囲い、来店するお客様を「緑の柱」でお出迎えするイメージで配置。

作品のアピール点

コンコース脇にエバーフレッシュ(高木)やコンテナ植栽を配置し、無機質な柱部分に壁面緑化を設置しています。

ご来店するお客様を、緑で癒し、リラックスした状態で落ち着いて買い物を出来るよう、又、店間移動の際、沖縄の強い日差しを少しでも和らげるような空間作りに貢献しています。



緑化システム

壁面緑化資材

【スマートパネル】を使用。 この資材の特徴はポット 苗を差し込むだけのため、 施工も早く、入替えも簡単 に出来ます。



一般社団法人

日本ハンギングバスケット協会理事長賞

「上質の リビングルーム」

株式会社 アルフレックスジャパン名古屋 株式会社 フタムラグリーンサービス

■受賞理由

「上質な快適さ」を家具とともに提案するために、ゾーンごとに植物種に統一感を持たせてある。ハンギングと床置きの植物を配置し、座った時、寝転んだ時にも緑が目線に入るよう置き場に工夫がなされている。アンシンメトリーな一歩先を行くデザインとなっている。ハンギングで動きが出ており会の目的に合致しており、選ばれました。

■作品の概要

「上質な快適さ」を家具とともに始まる豊かな生活をお届けするため、ゾーンごとにハンギングと植栽の樹種に統一感を持たせました。各ゾーンでお客様が受ける印象は異なりながらも店舗全体での一体感が感じられるような配置になっています。実際にソファに座った際やベッドに寝転んだときに目線にはいる植物により実際のお部屋にいるような感覚に近いものをお客様に感じて頂けます。

植物の存在によりお客様の店内における滞在時間を長くさせる効果を意識しました。



作品のアピール点

店舗入口から前面がガラス張りになっており、外から見ても植栽をふんだんに使用していることが分かり、家具との調和を意識し、店舗への来店を促すきっかけづくりを行っています。内装の仕切りにも植栽を使用し、各ブースとのつながりを持たせることでお客様の回遊をスムーズに案内。圧迫感のない空間づくりを行っています。







■ハンギングをオリジナルで製作し、みずやりや管理方法の負担を軽減。

屋内緑化推進協議会会長賞

「森の書店」

株式会社 明文堂プランナー 株式会社 パーク・コーポレーション

■受賞理由

本と珈琲を楽しむ空間とするため、まるで森の中にいるような室内とは思えない空間を演出している。天井まで届く樹木と、柱に取り付けたハンギングの緑、光に照らされて出来た植物の影が快適な空間を演出している。屋内では敬遠されがちな水什器を設置し、水音と光のゆらぎを演出しゆっくりと読書ができる空間としている。演出に優れた例として選ばれました。

■作品の概要

広い店内だからこそできるインパクトのある大きな植物を植え込み、まるで森にいるような室内とは思えない空間を演出。

また施工用土には環境にも生育にも 良い弊社オリジナルの parkERs soil を 使用しています。

ヨーロッパの街並みの広場をイメージ したカフェを中心に、

天井まで並べられた絵本を選んで読 書ができるくつろぎの空間。

作品のアピール点

広場の中心には 4mにもなる植物を設置緑のトンネルをくぐり抜けるとコーヒーショップに続きます。

音楽の視聴コーナーにも大きな植物を設置、まるで公園のベンチに座っているよう な気分になります







光に照らされて出来た植物の影がテラス(公園)感を演出します。 水什器を設置して水音と光の揺らぎを演出。本と珈琲を楽しむ癒しの空間です。

緑化システム

- ●吊プランター
- ●水音プランター
- 月2回メンテナンス



審査委員特別賞

「自然とともに ある暮らし」

株式会社 コスモスイニシア 株式会社 パーク・コーポレーション

■受賞理由

集合住宅のエントランスであるが、外部の景色と内部の緑を融和させている。植栽付ベンチと水盤付きプランター、壁面の緑、さらに木漏れ日を演出する照明で、公園にいるような心地よさを演出している。グリーンと一輪挿しの花が鏡に映り込み、緑につつまれているような空間演出をしている。優れた演出がなされているとして特別賞に選ばれました。

■作品の概要

"EDGE style (エッジスタイル)"を基に、parkERs が植物や自然素材をたくさん使った心地よい光や音が訪れる皆さまをお出迎えする空間をデザインしました。

ホールの中にいても自然を感じられる工夫が、随所に散りばめられています。

内でありながら外の景色を優しくつながる開放的なエントランスホール。 さわやかな植栽付ベンチと水盤付プランターでまるで木漏れ日の公園にいるような心地よさ。

植物の影が天井に映り込み、また違っ た美しさが広がります。



緑化システム

- ●月2回メンテナンス
- 光水プランター



●グリーンと一輪の花が鏡に映り込み、緑につつまれているような空間になります。





審査委員特別賞

「がんばれ ステップガーデン」

大和リース株式会社大阪本店

■受賞理由

駅前の市との区分所有の複合商業施設のコミュニティーセンターの共有スペースに高さ13mの柱状壁面緑化である。メンテナンスにブランコ作業を取り入れ時間と費用の軽減を図っている。このような新しい取組みが評価され選ばれました。

■取組の概要

駅前商業施設とそこに区分所有の 吹田市役所コミュティーセンターの一 階共用スペースに高さ13mの柱状型 壁面緑化を作りました。





■取組の具体的活動内容

メンテナンスとしては、施設営業終了後の23時から開店 1 時間前の9時までの10 時間が勝負。施設養生、足場搬入、組み立て、植栽搬入、作業、解体、撤去、搬出、清掃を考えると、実際の作業時間は、数時間しか取れない状況での総合メンテの実施。時間と金が掛かり今後のメンテナンス費用を考えると、このような奇抜な発想はやはり生まれない?



■取組のシステム

鉄骨下地に基本システムとしてD'グリーンアート(伊藤商事プラティコ)を採用しています。

屋根裏より潅水設備・照明 LED を設置 しています。

約 8,000pot を使用しています。 しかし こんな状態では・・・











作業効率、費用、生産性を考えるとこんな手法もありではないでしょうか? 実践して頂いた職人さんは、『こんな仕事がもっとやりたい!』と言ってくれました施 主側から考えると、イニシャルコストよりもランニングコストを意識される方が多い。 今後は大学等との連携をして、この壁面と使って、様々な研究やデータ収集、またイ ベントも企画し『この壁面緑化を作って良かったな!』と言って貰えるように頑張りた いと思います。

屋内緑化推進協議会奨励賞

電車内緑化 「リニモグリーン車」

ひらひら日本実行委員会 **ひらひらリニモ参加者一同**

■受賞理由

愛知万博公園沿線を走る電磁浮遊式電車リニモの車両を1日チャーターし、車内全てを緑化して乗客を乗せて走った。車窓に花飾りをしたり、床に子供が寝転んだり、動く庭のような空間は今まで味わったことのない空間であった。適切な緑量にすれば十分実用になり得るものでもので、将来の緑あふれる都市生活を想像することのできる取組みとして、選ばれました。

■取組みの概要

愛知万博公園沿線を走る電磁浮遊 式電車リモニ。リモニの車両を1日だ けチャーターし、その3両編成の電車 内全てを緑化し、乗客を乗せて走りま した。乗客は、募集を通じ集まった一般 市民を含めた約130名。この電車緑化 イベントは、リニモ沿線で行われた「全 国都市緑化あいちフェア」のピーアー ル活動を兼ねた「花や緑ある未来の街 作り」を促すための取り組みです。社内 の緑化は、短期のイベント装飾として 割り切ったものでなく、仮に常設したと しても利用できうる実用的な緑化を試 みました。リニモの所有者愛知高速交 通や運用地区の長久手市への電車緑 化のデモンストレーションとしての意 味合いも含めた活動です。

一般市民へ向けても、リモニを近未来の都市生活空間の象徴として、人間の日常生活として身近にありながら、緑化として普段あり得ない空間を緑でいっぱいにしてしまうという試みは、そのインパクトと共に、緑化の新しい可能性や魅力を発見するきっかけになるのではないかと期待しました。

作品のアピール点

車窓に花飾りをしたり、床に子供が寝転んだり。

動く庭のような空間は、今まで味わったことのない空間でした。

奇抜に見えるこの取り組みも緑の量を少し控えめにすれば、十分実用的なものになり得ます。人々にとって緑多き未来の都市生活を想像し易くするための作品でもあります。





緑化システム

電車内の唯一の緑化空間である頭上を緑化するための専用什器をステンレスにてオリジナル制作をしました。



丸パイプに取り付け、リングに観葉鉢 をはめ込むための什器もオリジナルで 制作。



一回切りのイベントだけでなく、今後もこの什器を用い、電車緑化を行う予定です。







シンガポール経済大発展の陰には ガーデンシティーの成功があった

屋内緑化推進協議会(前田悟会長)は、シンガポールの屋内緑化などを視察する研修ツアーを7月24日〜28日にかけて実施。世界一の質と量で最先端といわれるシンガポールの都市緑化を、2年に1度行われる「シンガポール・ガーデン・フェスティバル(開催7月23日

- ~27日)」に併せて視察研修した。ツアーには緑化、生産、市場、園芸店など多彩な顔ぶれの28名が参加した。
- 研修ツアーではフェステイバルを始め、花と緑のテーマパークとして注目を集めている「ガーデン・バイ・ザ・ベイ」、商業施設やホテ
- の緑化、世界遺産・シンガポール植物園などを視察。写真を中心に紹介する。

▶シティインザガーデンに進化

シンガポールは2015年建国50周年を迎えた若い島国。独立時には経済社会的に不安定であったが、初代リー・クアニュー首相の主導する「ガーデンシティー」による国造りを目指し、今では世界の貿易、交通、金融の中心地として発展。国民1世帯当たりの月収も日本の約2倍(シンガポール90万円、東京50万円)、9年間連続で世界で最もビジネス展開に良い国として知られている。

国づくりは「ガーデン・シティー」からさらに 一歩進めた「シティ・イン・ザ・ガーデン」を目指 し、住みやすい街、また世界から観光客やビジ ネスマンを呼び寄せる国づくりを進めている。



| バルコニーガーデン

ガーデン・フェスティバルのテーマの1つで、実際に天井や床、壁で部屋を作って12作品を展示していた。インテリアとしてのグリーンの使い方の提案で、屋内に池を持ち込んでみたり、壁面緑化や苔で天井や壁を飾ってみたり、いかにも自然的に鳥の巣があったりと、様々な提案は日本でもそのまま使える作品がほとんどであった。



ガーデンフェスティバルは ガーデンズ・バイ・ザ・ベイで開催

フェスティバルが開催されたガーデンズ・バイ・ザ・ベイは、近未来的なテーマパークとして2012年6月に完成した。埋めたて地110へクタールの敷地の中で開発された54へクタールにはフラワードーム、クラウトフォレストなどいくつもテーマガーデンがあり、フェスティバルはその一角で開催された。メイン展示は、ファンタジーガーデンとランドスケープガーデンであるが、室内緑化のバルコニーガーデンやミツバチの集まるベニー・サンフラワー・ファーム、ミュージックフラワーフィールドなど、10を超えるテーマで展示していた。海外からの出展も多いようで、日本からもランドスケープガーデンに出展していた。



商業施設の緑化

ショッピングモールの緑化は、いくつか回ったが、屋内、屋上、壁面と全面的に緑化に力を入れている施設と屋上や通路にわずかな緑があるだけなど差が見られた。屋上緑化では、日本では考えられないような大きな樹木が植えられていたが「荷重制限が、地震国日本とでは違うのではないか」(緑化技研・藤田さん)。壁面緑化は、建物の中も外も圧倒的なボリュ

ームで行われていた。アトリウム緑化はヤシをメインに草でいたが、下でしっかりとれていた。トインの入り口もシジを中心で緑化されていた。





空港の屋内緑化

シンガポールの玄関、シンガポール・チャンギ空港は、入国時には花と緑で装飾したウエルカムオブジェで出迎え、ロビーには大型の観葉植物植栽が何か所か設けられていた。24時間稼働の空港で、出国ロビーではいすやテーブルのある待合室には観葉植物が多数植栽され、また高さ十数メートルある壁面もつる植物で緑化されていた。



ホテルの緑化

屋上、壁面などに圧倒的な緑化を取り入れているパークロイヤルホテルはガーデンシティーを象徴するような緑が映えるデザインで、一度見たら忘れられないほどのインパクトがあった。ブーゲンビリアで飾られたシャングリラホテルは「20年以上たっても変わらない景観で、管理のすごさに驚く」(藤田さん)



●街中の緑化

3つのタワーの屋上に船を置いたような建物はマリーナベイズサンズホテルで、天空にヤシの植栽が見える。屋上からは眼下に今回の視察の1つであるガーデンズ・イン・ザ・ベイや行き交う船団が一望できる。地下鉄駅や公共広場でも緑化は当たり前のように、また道路の側帯も十分な緑地、緑化が行われて道路の照り返しを防いでいる。街中のオフィスビルでもいたるところで高層階まで植栽が確認できる。昨年からはオフィスビルだけでなく、コンドミニアム(分譲マンション)も緑化が義務付けられたと言っていた。



■フラワー・ドーム

地中海や南アフリカなどの冷涼な気候を作り出して、その環境に適した植物を世界から集めて植栽している。まず入って驚くのが巨大なボトルツリーやバオバブの木。そして通路両側には見たこともないようなサボテンや多肉植物が植栽されていた。また、千年、あるいは数百年以上と見られるオリーブの木も何本も植えられていた。中心部では蘭のコンテストが行われていたようで、多くの蘭に受賞リボンがつけられ、また、胡蝶蘭をはじめ多くの蘭が飾られていた。





▍ガーデンフェスティバル

目玉展示の一つ、ファンタジーガーデンは、テントの中に作られた庭で、暗くした中でライティングによってそれぞれの作品(庭)を浮き上がらせ、バックが暗いだけに幻想的なナイトガーデンを演出していた。ミュージカルフラワーフィールドでは、カマキリによるギターはじめ、ピアノやハープ、コントラバスが花や緑で作られ、ト音記号などが躍る中で、音楽と花との楽しい空間を作った。大きな蜂が花畑を楽しむかのように乱舞しているサンフラワーファームも記念撮影スポットとして使わていた。ランドスケープガーデンでは、トンボや蝶、ミツバ







チなどメインとしてあるいはアクセントとして 使われていた。"EN"と題した日本からの出品

シンガポールフローラルデザイナー協会に

にはゴールドが張られていた。



クラウド・フォレスト

フラワー・ドムの隣にあるガラス温室で、入ると目の前には高さ35mの人工の山がそびえ滝が流れ落ち、見上げると山全体に見事に植栽されている。エレベーターで6階までのぼり、散策路を伝わって途中の花畑や山の花々をまじかに見ながら下るが、散策路からはミストが噴射され、下から見ると雲がかかっている、あるいは霧の中に散策路があるように見える。





シンガポール植物園

2015年7月に植物園としては世界で3番目にユネスコの世界遺産に登録された。約64ヘクタールという広い敷地の熱帯雨林の中、ナショナルオーキッドガーデンやジンジャーガーデン、進化園などが点在している。オーキッドガーデンは約1000の原種、2000の交配種があると言う。整備されているとはいえ熱帯雨林の中なので、動物も多いようで身近にカメレオンも見られた。



ホルトパーク

園芸の楽しみ方を実際に展示、見本を作っている公共の公園。壁面(垂直)緑化やエスパリエガーデン、親水ガーデン、セラーピーガーデン、バラフライガーデンなど、11のテーマで実際にいろんなアイデアを落とし込んで庭を作り、生活者がそれを見てライフスタイルに取り組むためのモデル展示場。バタフライガーデンには実際に飛んではいなかったが、どの木を植えればどの蝶が卵を産むかなど、木が植えられ寄ってくる蝶がPOPで説明して

あった。ショップも併設していて野菜苗、スプライトなどガーデニング植物、用品も販売していた。





第2回海外屋内緑化視察研修ツアー

約200のガーデンセンターが一堂に集まる 彰化の「田尾郷」、今アジアで最ホットな おしゃれ街の「Newコンセプト店舗群」 (台中 美術園道)、土日だけ開催される 台北の「日曜花市」等を回る視察研修を 行いました。期間は旧正月前の最も園芸 商材が集まり、売れる1月11日から14日 で、参加者は27名でした。

▋台中 勘美「誠品緑園道」

台中市の中心部に建つが西側が広い緑道、南側には広大な公園がある角地にあり、現地では東洋一の壁面緑化と謳われている。遮るものが無くどこからでもよく見え、インパクトが強いビルであり、良好な生育を見せていた。2階から4階までは基盤型の壁面緑化で、それ以上12階まではベランダ緑化がなされている。



屋内には5層吹き抜けの基盤型壁面緑化があり、良好な生育を見せていた。屋内の壁面緑化の下部には送風機があり、閉鎖された屋内において通気することで植物の生育を保っている。





田尾郷「公園花園」

田尾郷は、台中市の南側に位置する彰化 縣内にあって、東西9.75km、南北3.38km の台湾を代表する植木の里です。

そのほぼ中央に近いところに「公路花園」という植木売店が200以上も軒を連ねる「植木の町」があり、その背後に600haを超す広大な生産圃場が広がっています。







◆田尾郷内を走行できる





◆造園の設計企業も存在した





◆レストランの一角に緑の装飾手法の展示がある

台中「美術園道」

美術園道というのは、国立台湾美術館を 背にまっすぐに伸びる五権西三街、五権西 四街一体のことで、季節の花や木々が美し い緑道となっています。緑道脇には、しゃれた レストランが軒を連ねており、おいしいお食事 を堪能できます。



◆多くは古い建物のファサードを改修したもの



◆緑道脇にしゃれたレストランが軒を連ねている





◆オーガニック食品の料理教室





◆同上マンションの屋上緑化 (イスとテーブルがあり会食ができる)



◆一角には菜園もある

▋台北「建国假日花市」

毎週土曜日と日曜日に高速道路の高架下で花市が開かれます。高架下約300mの区間の両サイドに、植木・花・園芸売店がところ狭しと軒を連ねます。花市では小さな鉢植え、切り花、園芸用品、培養土など、ありとあらゆる園芸関係の品物が販売されています。



◆雨の日にもかかわらず多くの人が来ている



◆水生植物の専門店



◆多肉植物も豊富に販売されている

▍台北「花市 売店群」





◆ナギの実生を密生させた鉢物 (縁起物として人気)



◆天井上にもランが載せられている



屋内緑化の普及啓蒙のため、設置担当者の説明を受けながら実際に屋内緑化事例を視察、屋内緑化・植物工場や室内緑化に関心のある業者関係者や個人を対象とし、加えて単行本「これからの屋内緑化・マニュアル」の販売、その後勉強会参加者との情報交換・交流を図りました。 (参加者は20歳~60歳代の17名)

日 程

2016年10月27日

会 場

パソナ本社:東京都千代田区大手町2-6-4

講師

今村 理沙 (パソナ農援隊) 講演「パソナの緑化の取り組み」

藤田 茂 (緑花技研)

講演「室内緑化の変遷と光環境」

森野 能弘 (フラワーオークションジャパン) 講演「シンガポール緑化事情 |

スケジュール

14:15 受付開始

14:45~15:30

パソナ本社内室内緑化視察

15:30~15:50

「パソナの緑化の取り組み」 (パソナ農援隊/今村氏)

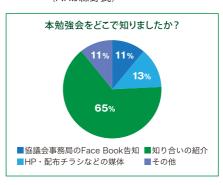
(休憩)

16:05~16:45

「室内緑化の変遷と光環境」 (緑花技研/藤田氏)

16:45~17:10

「シンガポール緑化事情」 (F.A.J森野氏)





● 屋内緑化見学の様子

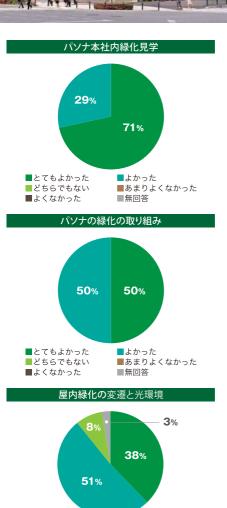


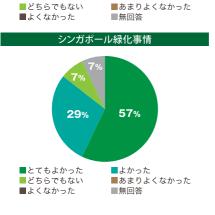
● 講習会の様子

今回は17名の参加となり、少ない人数での見学(2グループに分かれて見学)、受講だったのでゆったりとした勉強会となった。学生(東農大)の参加が有り、前回より幅広い年齢層に周知出来た事は有意義で有った。(後日、東農大の先生より、次回はもっと学生を連れて是非参加したいと連絡が入った)

アンケートからは、「パソナ本社室内緑化 視察」が最も評価が高く、続いてシンガポール緑化事情の評価が高かった。

来春までにもう一回の開催を検討。





■とてもよかった

「これからの屋内緑化・マニュアル」

これからの

屋内緑化・マニュアル

満井史郎氏

推薦!

若人にPR、 全国の高校等に 500冊寄贈

東京では3校に手渡しで

当協議会が昨年7月に 発刊し屋内緑化のバイブ ルとも言われる「これから

の屋内緑化・マニュアル〜壁面 緑化を中心にして~(藤田茂氏監修= 当協議会理事)」は、グリーンインダス トリー業界関係者を中心に幅広い人 たちに読まれているが、協議会では、こ れから就職するあるいは進学する若い 人たちに植物の効用、緑の大切さを知 ってもらうとともに、我々の業界に就職 し一緒になって啓蒙普及に取り組んで もらうことを祈念して、高校、専門学 校、大学などに500冊寄贈した。

早速、福島県のI農業高校校長より 「素晴らしい出来栄えの本を寄贈いた

だきありがとうございます」と お礼の電話が入り、造園コー スの先生にも見て貰い屋内緑 化の特別授業の検討を指示さ れたとの事です。

東京の3高校には山下よう こ理事が直接、各校長先生を 訪ねて寄贈、3人の校長は皆 『大いに活用させてもらいま す』と、感謝の意を述べた。

このうち、青梅市にある都立多摩高校 訪問の際は地元新聞2紙※が同行、本 の紹介や寄贈の目的などの詳細を含 む写真入りの記事が掲載され、屋内緑 化の地球環境や教育への貢献につい て、広くアピールする機会となった。

⇒11月11日「西の風」記事参照

※東京都西多摩地域・4市3町1村を購 読エリアとする新聞。西の風と西多摩 新聞の2紙があり、購読世帯は計約3 万。西多摩新聞にも同日、ほぼ同様の 写真入り記事掲載





自然セラピーの科学

予防医学的効果の検証と解明



宮崎 良文編 千葉大学環境健康フィールド科学センター教授

目 次
1.自然セラピーの概念
2.自然セラピー研究の最前線 9~98
3.人のストレス・リラックス状態測定法 99~123
4.個人差と生体調整効果 124~132
5.世界の自然セラピー研究 133~186
6.日本の森林と森林セラピー基地 187~193

宮崎良文教授の「自然セラピーの科 学」が朝倉書店より発刊されました。 興味深い内容が満載です。ご購読をお 薦めします。

ガーデンセラピー

心身を癒す究極の自然療法



高岡 伸夫著 株式会社タカショー代表取締役社長

IT機器・コンクリート・アスファルト… 「不自然」な生活環境が うつや生活習慣病を引き起こす -・番身近な自然「庭」は、実は予防医療の場 心身のバランスを整える自然療法 「ガーデンセラピー」 47~98 自然の癒し効果を最大化する 自宅で実践できる健康のための庭づくり-99~147 狭い場所でも栽培できて ストレスを軽減させる

自然と調和したライフスタイルが 心と体を健康にする

庭と暮らしをつなぐ「ハーブガーデン」 --149~176 季節と暮らし、自然の時間を生きる 177~197

室内植物があなたを救う

シックハウス対策、空気浄化、



ソン・キチョル著 建国大学大学院農業·動物科学研究科長 教授

Part-1 植物と人間と環境

◆これからの生活の質を決める「室内植物」◆植物の機能、その働き ◆人の健康への脅威、室内の「空気汚染」◆シックハウス症候群を緩 和する植物◆室内のCO2濃度を適正水準に◆室内に植物を置くと 夜には有害?♦サボテンと多肉植物を置けば、夜もCO2を吸収♦室 内の粉じんも吸着、吸収して除去◆植物はCO,COz,NOz,NH3も除去 できる ♦ 植物を利用したオゾンの除去 ♦ 冷暖房、温湿度を自動調整 する植物のバイオフィルター効果 ◆ 植物を使った市販の空気浄化。 システム 🌢 人の気分を向上させる植物 🌢 植物は情緒的安定ももた らす◆室内植物は統合失調症の治療にも効果的◆生け花とフラワ ーアレンジメント、治療的効果の可能性 ♦ 現代人のテクノストレスと 植物 ♦ 観葉植物と

一緒に花も飾る ♦ 植物の 「精油」も、上手に使おう 植物による有事電磁波除去の丁夫数室に植物を置くと…室 内に植物を置いて育てるには◆植物はベランダではなく室内に置こ う♦壁埋めこみ式室内空気浄化システムの提案♦実験室以外での 検証♦治癒、そして回復のための園芸活動 ……… 14~128

Part-2 お薦めの室内植物15種

◆室内植物の選び方、栽培のポイント …… 132~168